

新潟県立植物園 2023年8月・9月

温室みどころマップ

暑い夏だからこそ温室の植物たちは魅力を発揮します！
そして25周年の植物園、ますます盛り上がっていきます☆

①ソーセージノキ

美味しそうな植物の名前

【ノウゼンカズラ科】

果実の形がソーセージに似ていることからソーセージノキの名前が付けられました。

枝から長い花柄を伸ばし、花は夜に開花します。



← たくさんソーセージがぶら下がっているように見えます。ソーセージのような形ですが有毒のため食べられません。

当園では2009年に初開花し、その後毎年開花します。同じ木の花の間で受粉が行われても種子ができない性質（自家不和合性）があるため、ホルモン処理をして結実させています。



第1室

(熱帯植物ドーム)

- 花が咲いています
- 実がついています

子供が乗れる大きな葉！白から赤に変わる花にも大注目！！

②パラグアイオニバス

オオオニバスの仲間。葉の直径が2～3mになり、子供も乗ることができます。葉の表面にはトゲはありません。花は夜に咲き、日中は閉じて翌日の夜に再び開きます。1日目の花は白色で甘い良い香りがあり、2日目は濃いピンク色に変わります。



1日目の花



2日目の花

冬にバックヤードや熱帯植物ドームで育てたものを園地の池に移します。大きくなった姿をぜひ園地の池でぜひご覧ください。

③オオタチカラクサ (ブルージンジャー)

【ツユクサ科】

英名はブルージンジャーと呼ばれています。葉や茎がショウガの仲間に見えるため、名前にジンジャーと付きますが、ショウガの仲間ではなく、ツユクサの仲間です。

花を観察するとムラサキツユクサに似た花がたくさん集まって咲いているように見えます。鮮やかな青い花は涼しげで爽やかさを感じさせてくれます。



温室内はフタ付きの飲み物であれば持ち込みいただけます。室内でも気温が高い場所もありますので、適度に水分や休憩を取りながらご観覧ください。

第2室

植物の魅力を紹介する企画展示を開催。大人気の水中庭園では多様な水草を展示。

「食虫植物展・恐竜と花展」

7月13日(金)～9月10日(日)

2つの超生物の展示を同時開催。食虫植物展は彼らが野生下で生活している環境に近い熱帯植物ドームを舞台に。そして恐竜と花の不思議な関係性についての展示は第2室で開催します。食虫植物と恐竜がいる不思議な空間を楽しみましょう！



「飲む発酵展～7つの健康パワー～」

9月14日(土)～11月19日(日)

私たちの生活に密着し身近な存在である発酵食品。7つの発酵食品について原材料の植物から食品になるために欠かせない発酵の関わりと、発酵もたらす健康のチカラを解き明かします。健康に生きていくためのヒントが満載の展示です。



第3室

『作品展示』では植物に関連した活動を行っている団体や個人の作品を展示。体験教室や「おやこ植物園」はこちらの温室です。

おやこ植物園

植物の観察、工作などを体験するエリアです。
対象：小学生以下のお子さまとその保護者の方
開館日時：温室開館日と同じ
(ホームページをご確認ください)
10:00～15:00

体験料：体験内容により異なります。

参加方法：
当日温室入館券売り場で申し込みください。
※混雑時は入場制限する場合がございます。
※ご不明な点はお問い合わせください。

作品展示

「ポタニカルアート展」(植物の細密画の展示)
7月19日(水)～8月6日(日) 下越ポタニカルアートの会

「楽しいHawaiian Quilt展」(ハワイの植物や花をモチーフにしたハワイアンキルトの展示)
8月8日(火)～8月27日(日) Comonatu Quilt

「あかね工房の仲間たち」(羊毛フェルトや色えんぴつ画の展示)
8月29日(火)～9月18日(月) かね工房

「はなはっぱみ展」(植物をテーマにした羊毛、粘土、ニット、絵画、切り絵の展示)
9月20日(水)～10月9日(月) かなはなはっぱみ製作委員会

